

社会福祉施設等の長 様

新潟県高齢福祉保健課長

デング熱等の蚊による感染症（蚊媒介感染症）の予防対策について（依頼）

蚊の発生する時季を迎え、デング熱等の蚊媒介感染症の発生が懸念されるところです。については、下記の事項を参考にし、適切な対応をお願いします。

記

1 蚊媒介感染症について

(1) 蚊媒介感染症の主なもの

- ・デング熱：平成 26 年には、69 年ぶりに国内感染例が報告されました。潜伏期間は 2 日～15 日で、発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹等を伴って発症します。
- ・チクングニア熱：これまで国内感染例は報告されていませんが、世界的に流行が拡大しており、日本においては国外感染例が報告されています。潜伏期間は 2 日～12 日で、発熱、関節痛等を伴って発症します。

(2) 感染は、ヒト（患者）－蚊－ヒトという経路で蚊を媒介しますので、ヒトからヒトに直接感染することはありません。

2 感染防止について

蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。

- (1) 長袖、長ズボンを着用するなど、屋外の作業において、肌の露出をなるべく避ける。また、虫よけ剤等を使用し、蚊を寄せ付けないようにする。
- (2) 室内の蚊の駆除を心がける。
- (3) 蚊の幼虫の発生源を作らないように注意する。
(蚊は水辺に産卵する。下水溝、廃タイヤの中や水桶等の人工的な環境下においても産卵し、増殖する。)
- (4) 蚊に刺されて発熱や発疹などの症状がある場合は、かかりつけ医等を受診する。

3 問い合わせ先

- ・蚊媒介感染症に関する問い合わせ先
新潟県福祉保健部健康対策課又は最寄りの保健所
- ・関連ホームページ
厚生労働省 デング熱について

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html

担当 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 施設福祉係 田村 Tel 025-280-5193（直通）
--

社会福祉施設等の長 様

新潟県高齢福祉保健課長

ダニによる感染症（ダニ媒介感染症）の予防対策について（依頼）

山に入る機会が増える時期になり、ダニによる感染症（ダニ媒介感染症）の発生が懸念されるところです。

については、下記の事項を参考にし、適切な対応をお願いします。

記

1 ダニ媒介感染症の主なもの

- つつが虫病：つつが虫病リケッチアを保有するダニの幼虫（ツツガムシ）【大きさ：約 0.3mm】に刺されて起こる感染症です。潜伏期は 1～2 週間で、高熱、発疹を伴って発症します。
- 日本紅斑熱：日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニ【大きさ約 3mm】に刺されて起こる感染症です。潜伏期は 2～8 日で、高熱、発疹を伴って発症します。
- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
：SFTS ウイルスを保有するマダニ【大きさ約 3mm】に刺されて起こる感染症です。潜伏期は 6 日～2 週間で、発熱、食欲低下、おう気、おう吐、下痢、腹痛などで重症化し死亡することもあります。

2 感染防止について

農作業、山菜採り、庭仕事などで、山林や草地などに入るときは、次のことに注意しましょう。

- (1) 長袖、長ズボン、長靴を着用し、肌をできるだけ出さないようにする。
- (2) 衣類を草むらに置いたり、草むらで休息や用便をしない。
- (3) 防虫スプレーを使用する。
- (4) 山野での作業後は入浴するなどして、吸血前のダニを皮膚から洗い流す。ダニが体についていないか点検する。ダニに刺されている場合は、早ければ病原体が体内に注入されることを防げる場合もあるため、皮膚科で除去してもらうことが望ましい。

3 問い合わせ先

- ダニ媒介感染症に関する問い合わせ先
新潟県福祉保健部健康対策課又は最寄りの保健所
- 関連ホームページ
国立感染症研究所 節足動物媒介感染症について
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/route/arthropod.html>

担当	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 施設福祉係 田村 Tel 025-280-5193（直通）
----	---